

平成31年度学校経営計画表（通信制）

1 学校の現況

学校番号	24		学校名	県立水戸南高等学校				課程	定時制，通信制		学校長名	武藤 洋一				
教頭名	木村 隆 (定時制・昼間制)		大塚 哲蔵 (定時制・夜間制)				荒井 豊水 (通信制)		事務室長	千葉 一夫						
教職員数	教諭	62	養護教諭	2	常勤講師	2	非常勤講師	26	実習教諭，実習講師，実習助手	1	事務職員	6	技術職員等	10	計	114
生徒数	課程・学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	定時制(昼)普通科		41	38	29	33	38	30	9	2	117	103	8			
	定時制(夜)普通科		14	3	9	7	6	5	6	2	35	17	4			
	通信制	普通科	68	71	52	67	66	72	49	80	235	290	24			
	ライフデザイン	11	29	16	17	8	15	—	—	35	61	3				

2 目指す学校像

<p>校是「風雪に耐えてこそ巨木の年輪ハ刻まれる」</p> <p>常に明るくのびのびと学習を続け，高い理想と強い向上意欲に燃える豊かな心情と丈夫な身体とを兼ね備えた，心身ともにたくましい人間を育成する。</p>

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	中学校時に欠席が多かったことなどの理由から，基礎学力が身に付いていない生徒が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的事項の指導の徹底 ・発展的な学習能力の伸長
	社会状況の変化や経済の低迷により，求人数が減少し，生徒の進路希望の達成が難しくなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい勤労観・職業観の育成 ・個に応じた進路指導の充実，個別指導の徹底
生徒指導	生徒の多様化に伴い，精神的な悩みを抱える生徒や規範意識に欠ける生徒が増加している。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導，教育相談体制の充実・強化 ・全職員による生徒指導体制の確立
	人間関係につまずき，集団生活に円滑に適応することができない生徒も増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や生徒会活動の内容の充実 ・定通体育大会，生活体験発表会等への参加の奨励

4 中期的目標

- 1 自由な校風のもと，小・中学校での不登校の経験や高校を中途退学した経験など多様な学習歴を持つ生徒が，単位制高校の特色を生かし，自己の可能性を見つめさせ，個性の伸長を果たせる教育活動の充実に努める。
- 2 働きながら学ぶ者，進学や就職を目指す者，文化やスポーツに特異な才能を持つ者，生涯学習の一環として学ぶ者など，様々な目的をもって学ぶ生徒のキャリア発達を促し，一人一人の夢や目標を実現できる支援体制の確立を図る。

5 本年度の重点目標（通信制）

重点項目	重点目標
生徒一人一人の継続的な学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none">・ 添削内容の充実によるレポート提出率の向上・ 「学習状況表」や「通信制の手引き」のより有効な活用
望ましい勤労観・職業観の育成	<ul style="list-style-type: none">・ ホームルームにおける進路指導の充実・ 教育活動全般を通じたキャリア教育への取り組み・ 生徒の進路実現へのサポート
基本的生活習慣と規範意識の確立 （学校生活の安全と安心）	<ul style="list-style-type: none">・ 社会性と公共心の育成，規範意識の高揚・ 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実・ 安全・安心な学校生活を送る支援体制の確立
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none">・ 精神的に学校生活を援助する体制・ ホームルームにおける道徳教育の充実
保護者及び家庭や関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none">・ 若年生徒，中学時不登校，全日制中途退学者等多様な生徒への個に応じた指導・ 社会的自立を支援するための家庭等との連携
学校行事への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none">・ 生徒中心の企画内容の検討・ 特別活動への主体的な参加